

北のいぶき

Public Relations
Magazine

2022年度

K I T A N O I B U K I



支部スローガン

「広げよう笑顔の輪～QCサークルで明るい未来へ!～」



QCサークル北海道支部

ごあいさつ

2021年、世界的な「新型コロナウイルス」のまん延により様々な制限を受ける中、新たな働き方を模索しながら、人づくり・職場づくりに、日々、取り組んでおられることと存じます。

このパンデミックにより、業務のオンライン化、在宅勤務などが急速に進んだことにより、働き方も大きく変化し、種々の課題はあるものの、結果、働き方改革に繋がってきたのではないのでしょうか。このような環境の中、昨年度、初めての完全オンラインでの大会を開催し、一定の成果を挙げる事ができたと考えております。

この経験などを活かし、コロナ禍での最適なQCサークル活動を模索しながら進化させ、将来を担う人づくり・職場づくりの一助となるべく、ウイズコロナ・アフターコロナでの更なるQCサークルの活性化に向けた取り組みを進めてまいります。

今後とも皆様からご意見・ご要望を頂戴し、北海道支部活動に反映させていく所存でございます。引き続き、ご理解・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



2022年度支部長
今井 光明
トヨタ自動車北海道(株)
常務取締役

1. QCサークル活動の考え方と理念

1-1. QCサークル活動とは

QCサークルとは

第一線の職場で働く人々が、継続的に製品・サービス・仕事などの「質」の管理・改善を行う小グループである。

この小グループは

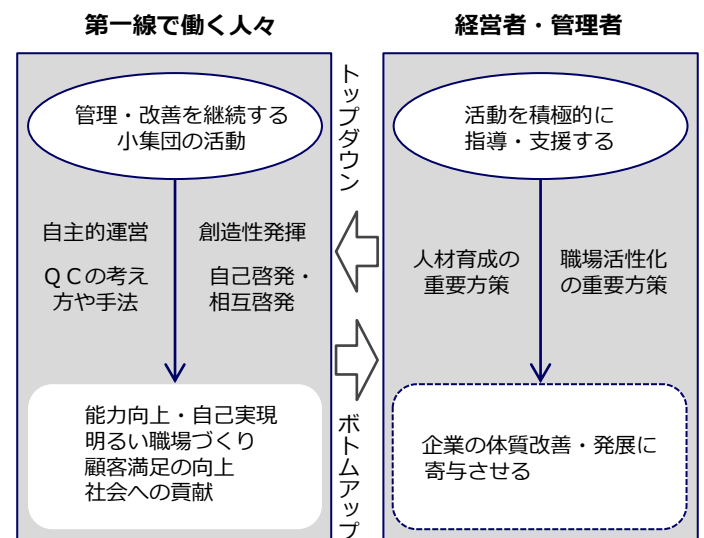
運営を自主的に行いQCの考え方・手法などを活用し、創造性を発揮し、自己啓発・相互啓発はかり、活動を進める。

この活動は

QCサークルメンバーの能力向上・自己実現、明るく活気に満ちた生きがいのある職場づくり、お客様満足の上昇および社会への貢献をめざす。

経営者・管理者は

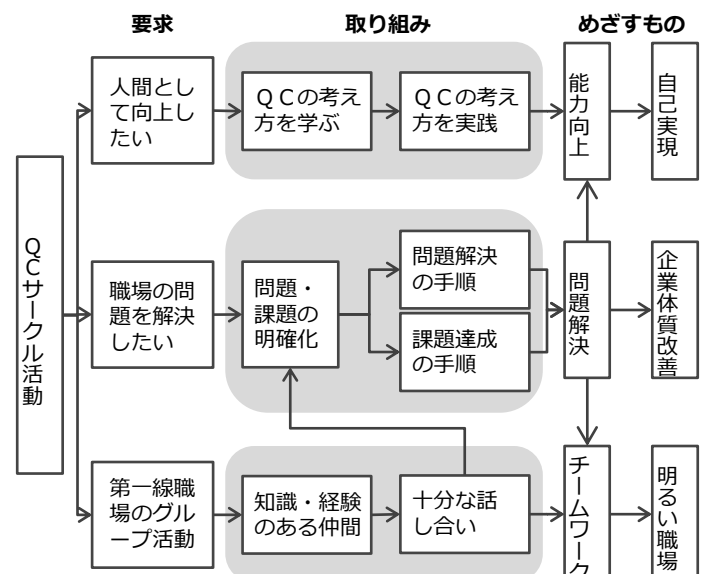
この活動を企業の体質改善・発展に寄与させるために人材育成・職場活性化の重要な活動として位置づけ、自らTQMなどの全社的活動を実践するとともに、人間性を尊重し全員参加をめざした指導・支援を行う。



1-2. 活動の基本理念

QCサークル活動にかかわる人々が、活動に期待し、進むべき方向を示したものです。

- 人間の能力を発揮し、無限の可能性を引き出す。
- 人間性を尊重して、生きがいのある明るい職場を作る。
- 企業の体質改善・発展に寄与する。



2. QCサークル活動の環境

2-1. 経営環境の変化

新型コロナウイルスの拡散から政府より「新しい生活様式」が発表され、企業においても取り巻く環境は大きく変化を続けています。ご存知の通り、当たり前と思われた常識がもはや非常識となる程の変化が世界中で起こり、新しい社会的価値観にシフトしています。

こうしたなか、変化に対応し難局を打開する基盤として、第一線の職場が変化に能動的に対応する能力・活力を持つことの重要性が増しています。

2-2. QCサークル活動への期待

QCサークル活動は、自ら考え・学び・行動する風土を醸成し、人材育成・職場コミュニケーション向上・モチベーション向上に有効な活動です。環境変化に対し、問題意識を持ち自ら改善を進める柔軟で活力ある職場づくりが求められる中、QCサークル活動への期待はますます高まっています。

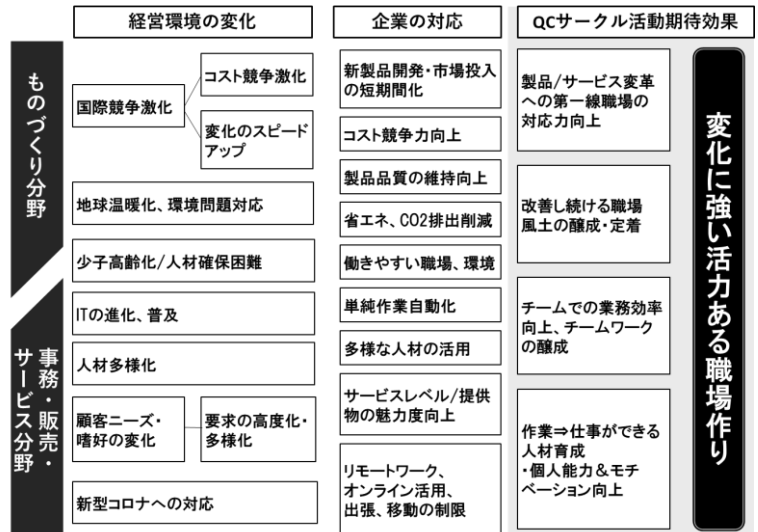


図3. 経営環境の変化とQCサークル活動への期待

3. QCサークル北海道支部の取り組み（これまでの取り組みと新たな中期方針）

これまでQCサークル活動の普及・推進を目的として、支部活動の質的向上と多様化・効率化を目指した活動を進めて参りました（図4）。しかしながら、2021年度についても新型コロナの影響で活動が十分にできない期間が続き、非常に厳しい環境に置かれています。

このような中でも、QCサークル活動の普及・推進を通じて、北海道内企業・団体・地域の活性化/発展に寄与したいという支部内メンバーの強い思いから、新たに作成した中期計画を推進しています。

2021年度にQCサークル北海道支部は50周年を迎えました。新型コロナを機に大きく進んだ、オンラインでの会議・研修システムなどを活用し、遠距離のため活動しにくいというネックを克服するとともに、行政や道内各企業、団体との連携を強化して、新時代に向けた活動を展開して参ります。

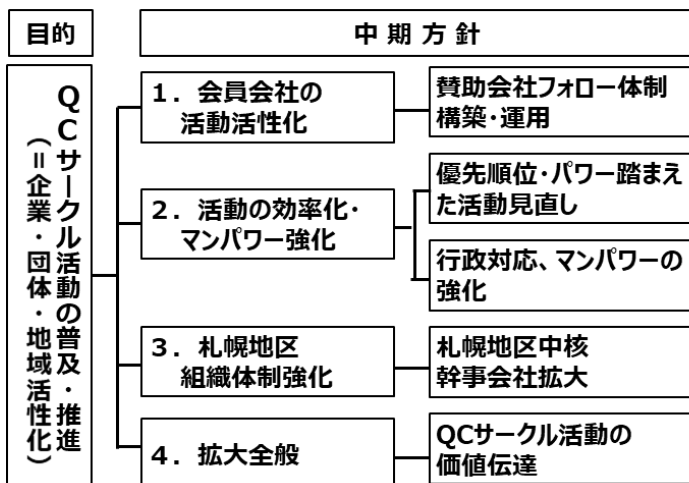


図4. 従来の取り組み（中期方針2018～2020）

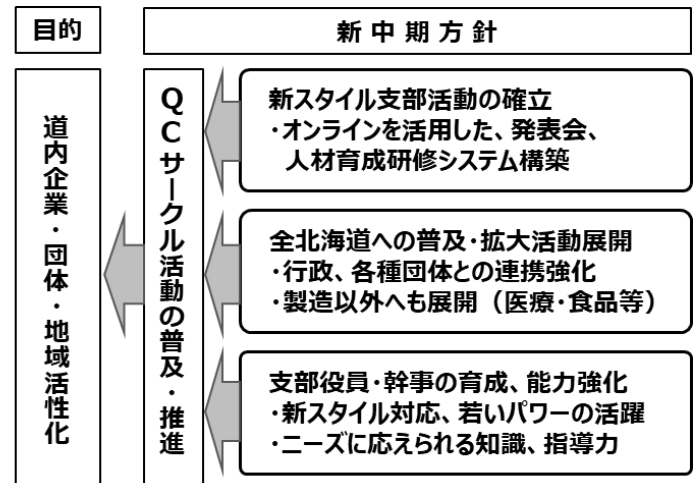


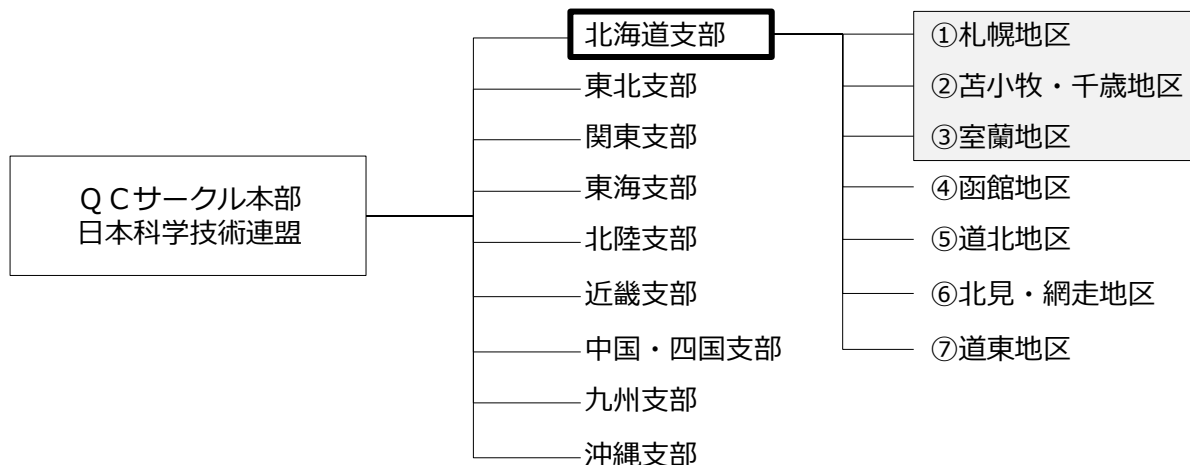
図5. 今期の新中期方針（2021～2023）

4. QCサークル北海道支部の組織

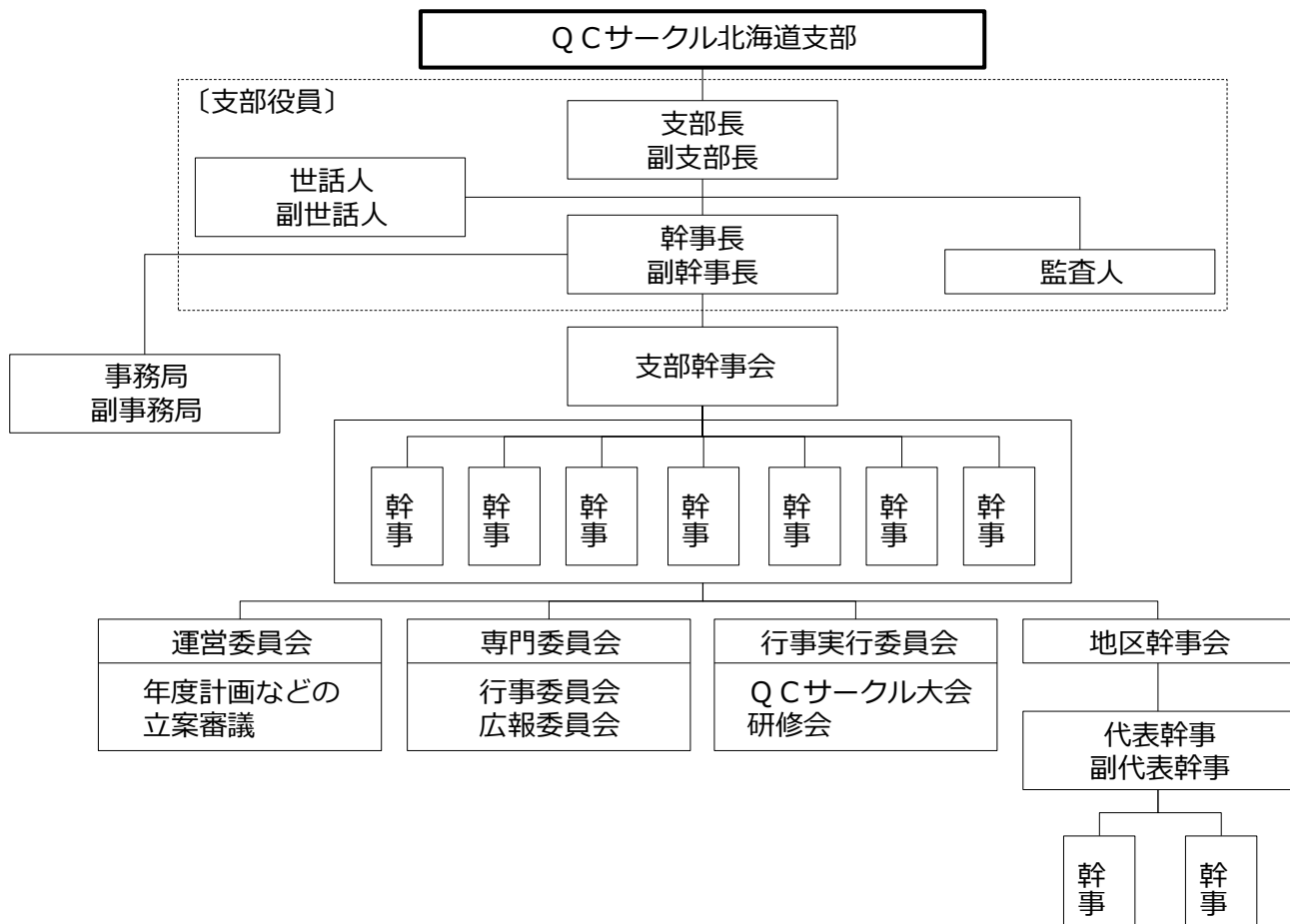
4-1. 支部の運営と活動

- 1) 支部活動を支援する「幹事会社」から派遣された支部役員・幹事のボランティアにより、活動を運営しています。2022年度の幹事会社は18社（予定）。
- 2) 支部活動の趣旨に賛同し会員として登録した「賛助会社」には、支部行事への参加・交流を通して自社活動の発展に活かしていただいております。2021年12月時点の賛助会社は82社。
- 3) 道内を7つの「地区」（地域組織）に区分し、地域ごとのきめ細かい普及・啓蒙活動を展開しています。2021年度現在3地区が活動中で、他地区は順次展開予定です。

4-2. QCサークル本部・支部の構成組織



4-3. 北海道支部の運営組織



5. QCサークル北海道支部の主な活動

行事	種類	内容	開催	日程	参加費
大会	改善事例部門	問題・課題を解決した事例の成果発表	3回/年	1日	4,800円/名 (賛助会社・幹事会社) 5,300円/名 (一般会社)
	運営事例部門	改善事例を含むサークルの総合的な運営事例の発表(製造・*JHS)	上記に併催		
研修会	リーダー養成コース	①問題解決手順の体験学習 ②リーダーの役割の体験学習	それぞれ 1回/年	1泊2日	20,000円/名 (賛助会社・幹事会社) 22,000円/名 (一般会社)
	問題解決手法の 実践研修 (メンバー対象)	①QC手法の体験学習 ②QC手法の実践演習			

* JHS：事務・販売・サービスの略称

5-1. 大会

項目	改善事例発表	運営事例発表(支部選抜)
発表内容	サークルが取り組んだ改善事例を、 テーマリーダーが発表します。 (発表時間：15分/件)	サークルを成長させてきたあゆみ(活動歴)を、 サークルリーダーが発表します。 (18分/件)
表彰	▽支部長賞 ①最優秀賞 ②優秀賞 ③優良賞	▽支部長賞 ①金賞…全日本選抜QCサークル大会に北海道 代表として参加いただきます。 ②銀賞 ▽北海道知事賞
開催地	札幌、苫小牧・千歳、室蘭	改善事例発表大会と同時開催

5-2. 研修会

項目	リーダー研修会	メンバー研修会
ねらい	問題解決能力、サークル運営力ならびにリーダーシップを身につけ『実力あるリーダー』を育成。	問題解決の手順や基本的なQC手法を習得し、『自ら考働できるメンバー』の養成。
内容	サークルリーダーの役割や問題解決手順の講義とリーダーの役割や必要な知識を習得するための体験学習。	サークルメンバーの役割とQC手法などの講義とそれを使った問題解決の体験学習。
開催地	札幌又は苫小牧・千歳	札幌又は苫小牧・千歳

6. 地区活動～地域に密着した「地区」単位の活動を推進

広大な北海道では、地理的な事情から、支部主催のQCサークル大会や研修会だけでは各地域の企業の多様な要望に十分応えることが困難であるのが実情です。

そのため「支部活動」に加えて、地域に密着したきめ細やかな「地区」単位での活動を札幌、苫小牧・千歳、そして室蘭地区で推進して来ました。地区活動では「活動経験の少ない企業・団体サークルでも気軽に参加できるように」という考えのもとに行事を展開しています。

行事	項目	内容	回数
QCサークル 情報交換会	①基調報告 ②意見交換	活動上の問題について他社の事務局や推薦者と討議を行い、今後の方向づけや解決の糸口をつかむ。	1回/年
ミニ発表会	①事例発表・講評	経験の少ないサークルが、発表・聴講を通じて力をつける。	1～2回/年
手法研修会	①研修講義 ②問題演習	講義と演習問題を通じて、問題解決の手順やQC手法の使い方の基礎知識を習得する。	1～2回/年

7. 活動実績（2021年度）

7-1. 北海道支部3大会を開催

1) 各大会開催実績及び最優秀受賞会社サークル

コロナ禍のなか、新しい大会開催方法として、Web開催に取り組みました。

大会名	開催方法	会社名/サークル名	発表サークル数	参加人数
千歳大会 2021年7月16日	オンライン	(株)シーヴィテック北海道 / ミリオン 有楽製菓(株) / 江主亜流乃柱 (Iマールハラ)	10サークル	96名
室蘭大会 2021年10月22日	オンライン	トヨタ自動車北海道(株) / マコちゃんず 産業振興(株)室蘭事業所 / ティータイム	13サークル	110名
50周年記念 札幌大会 2022年1月20日	オンライン	(開催予定)	21サークル予定	(未定)

・2022年1月の50周年記念札幌大会は、これまでの感謝を含めると共にQCサークル活動を更に多くの方に知って頂くため、特別に聴講を無料とし、全道に（WEB）募集予定です。



オンライン発表



オンライン聴講

2) 研修会は、COVID-19(新型コロナウイルス感染症)感染予防のため中止しました。

7-2. 地区活動実績

※12月10日現在

地区	苫小牧・千歳地区	室蘭地区
行事	賛助会社事務局情報交換会	推進担当者交流会
日時	2021年4月21日	2021年4月16日
場所	苫小牧市文化会館 3F第2・3会議室 (Web Zoom)	日本製鉄(株)室蘭製鉄所 本事務所 (#110会議室)
参加者	6名(4社) + 幹事7名(6社)	4名(4社) + 幹事14名(7社)
内容	① 苫小牧・千歳地区計画のご紹介 ② 過去に出た困りごと・悩み紹介 ③ QC事務局虎の巻 ④ フリーディスカッション 「QCサークル推進や活性化について」 「サークルリーダーの育成方法」	① 2020年度活動報告 ② 2021年度活動計画 ③ フリーディスカッション 「出前研修について」 「研修の内容について」 「オンライン大会について」

・札幌地区は、COVID-19(新型コロナウイルス感染症)感染予防のため中止しました。

8. トピックス

8-1. QCサークル経営者賞 (株)ダイナックス 伊藤 和弘 社長 受賞

本賞は経営者として「QCサークルの基本」に徹し、職場におけるQCサークル活動等の小集団活動を永年にわたり指導・育成し優れたリーダーシップと熱意を発揮されると共に地域のQCサークル活動の発展に大きな貢献をされた経営者を表彰するために創設された賞です。

受賞のコメント (11月12日の札幌大会にて表彰を受けました)

この度は、QCサークル経営者賞受賞にあたり多くの関係者、地域の方々にご評価頂き、ありがとうございました。心から感謝を申し上げます。弊社は40年以上QCサークル活動を経営の根幹に据えて取り組んでおり、日本以外にも米国・中国・欧州の各海外拠点へ活動を広げ、活動の活性化を図って参りました。またQCサークル北海道支部を通じて、地域の方々の育成に貢献すべく取り組んで参りました。これからも地域社会発展の為、引き続きご支援して参りたいと思います。



受賞：(株)ダイナックス 伊藤 和弘 社長

8-2. QCサークル活動(小集団改善活動)優良企業・事業所表彰 航空自衛隊 第2航空団 受賞

本賞はQCサークル誕生50周年を記念し、企業組織の本社・工場・支店・営業所などにおけるQCサークル活動のさらなる発展を期して創設された賞です。2021年度北海道支部からはQCサークル活動による明るい職場づくり、優秀なサークル活動発表とこれまでの支部活動に対する貢献が高く評価された「航空自衛隊第2航空団」が受賞されました。

受賞のコメント

過去の先人たちの努力の積み重ねの結果で評価して頂いたものと理解しています。全自衛隊において初の受賞で大変嬉しい限りです。特に今年度の空自QCサークル大会で評価された活動内容は品質管理の改善活動にとどまらず質の向上から安全面に及び事故の未然防止に着目したものでした。受賞した「記念の盾」は現場で持ち回り多くの隊員に見てもらいたいと思います。



受賞：航空自衛隊 第2航空団

8-3. QCサークル推進 石川馨賞 アイシン北海道(株) 羽生 薫様 受賞

本賞はQCサークル活動推進者として、QCサークル活動の基本理念の実現に向け、社内外において積極的な推進活動に取組み、顕著な貢献をされ、かつ今後の活動を期待される推進者を表彰する目的で創設されました。長年に渡るQCサークル北海道支部活動の多大なる貢献と今後の活動を期待され、アイシン北海道(株)羽生 薫様が表彰を受けました。

受賞のコメント

この度は大変光栄なQCサークル推進石川馨賞をご授与賜りありがとうございます。QCサークル活動には約35年ほど関わり、同時に約10年間 会社を通じQCサークル北海道支部にて幹事会社並びに賛助会社の皆様と外部研修や発表大会等関わった沢山の方々からのご協力とご支援のもとで頂いた賞だと感じております。今後もQCC北海道支部や他企業の皆様とQCサークル活動を通じて一層の努力をして行きたいと思っております。



受賞：アイシン北海道(株) 羽生 薫 様

8-4. 第14回全日本選抜大会(事務販売サービス) (株)TMJとトヨタ自動車(株)士別試験場 金賞受賞

6月11日開催の「第14回事務・販売・サービス 部門全日本選抜QCサークル大会」において、(株)TMJ ONE TEAMサークル「目指せ”ONE TEAM”～“全員参加”実現への軌跡」とトヨタ自動車(株)士別試験場 門★STARサークル「“ありがとう”の一言を言っていたるために」が見事金賞を受賞しました。今回は、新型コロナ感染防止から完全オンラインで開催されました。



受賞：(株) TMJ ONE TEAMサークル



受賞：トヨタ自動車(株)士別試験場 門★STARサークル

9. QCサークル活動導入企業の紹介

ビー・ユー・ジーDMG森精機株式会社

- 所在地 : 札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目1番14号
- 設立 : 1980年
- 職員数 : 179名 (2021年4月1日現在)
- 事業内容 : コンピューターシステム、ハードウェア、ソフトウェアの企画、設計、開発、製造、販売



1. プロフィール

当社はハードウェアからドライバ、アプリケーション開発まで、多種多様なプラットフォームや開発言語に精通した総合的な技術力を持つシステムハウスです。1980年の「株式会社ビー・ユー・ジー」創業以来、画像処理技術、通信技術、工作機械制御と幅広く事業を展開しています。2008年に森精機製作所（現・DMG森精機）と業務・資本提携を行い、創業以来培ってきた制御、通信、画像処理など幅広い領域にわたる技術やノウハウを生かし、工作機械の制御システムやスマートファクトリーの実現に向けたソフトウェアを開発しています。

2. 事業概要

親会社DMG森精機の工作機械を操作するためのオペレーティングシステムを主に開発しています。パソコン上で画面誘導に従いながら加工プログラムを簡単に作成できる対話型自動プログラミングシステムや、効率的な工具管理を実現するシステム、3Dモデルで加工シミュレーションを行い干渉事故を防ぐ機能など、精緻で複雑な加工を実現する工作機械の操作性を向上させ、加工時間を短縮する様々なソフトウェアの開発を行っています。

また、近年、AIを利用して切屑除去を自動化する機能や、工作機械をネットワーク化し、稼働状況の確認や遠隔保守を行う機能など、最新技術を用いて、工場のデジタル化をサポートするソフトウェアの開発にも注力しています。

そのほか、これまで蓄積された通信や組込開発の技術／ノウハウを応用した受託、研究開発や、同じDMG森精機グループ企業であるサキコーポレーションの基板外観検査装置をソフトウェア・ハードウェアの両面で協力し、開発しています。



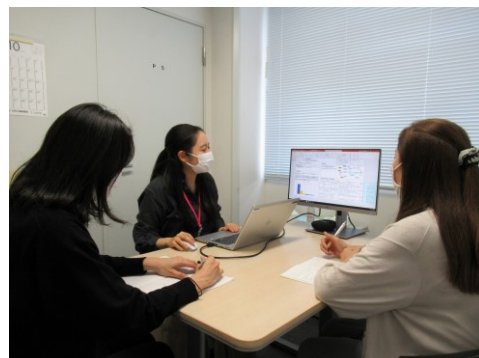
3. QCサークル活動への取り組みと成果

DMG森精機のQCサークル活動と連動して、2017年からQCサークル活動を開始しました。現在、20サークルが週1回のペースで活動しており、業務の効率化やミスの低減などに取り組んでいます。

毎年11月に行われるDMG森精機でのQCサークル発表大会に、札幌から複数のチームがエントリーし、発表を行っています。

まだまだ試行錯誤で取り組んでいる状態ですが、さらなる定着を目指して、2020年にQCサークル北海道の賛助会員となりました。2021年には指導員の方にご来社いただき、基本講義や個別のサークル指導のご支援をいただきました。

部署の中でも比較的若い社員がリーダーを務めており、次世代のリーダー育成や組織の活性化につながることも期待しています。

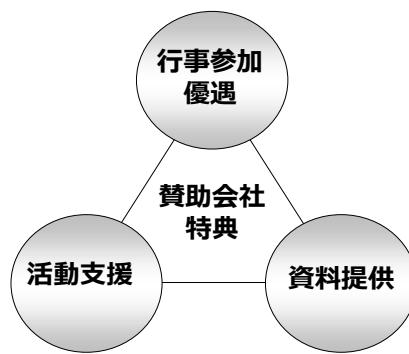


10. 賛助会社加入のお勧め

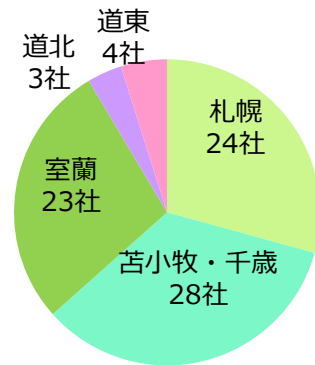
10-1. 賛助会社制度

QCサークル北海道支部活動の趣旨に賛同いただく企業・団体を対象に、支部主催の行事参加への優遇や活動支援・資料提供などを内容とする「賛助会社制度」を設けています。

加入いただいている賛助会社は、道央圏をはじめ、道北・道東地区など、北海道各地に所在しています。



賛助会社の特典



賛助会社～地区

10-2. 賛助会社の特典

	項目	内容	補足	申込先
行事参加	(1) 支部行事開催の案内	支部主催のQCサークル大会・研修会の開催案内をお届けします。	年5～6回	各行事実行委員長会社
	(2) 支部大会に招待	QCサークル大会に、各社1名をご招待します。	年3回 無料	
	(3) 支部行事参加費の割引	大会／研修会とも、賛助会社の参加費は割引価格に設定しています。	約10%の割引	
	(4) 地区行事開催の案内	QCサークルミニ発表会・地区研修会の開催案内をお届けします。	年2～3回	
資料提供	(5) QCサークル情報誌の送付	「QCサークル誌」(一財)日本科学技術連盟発行)をお届けします。	毎月1部 無料	支部事務局 手配
	(6) QCサークル大会要旨集の送付	大会要旨集(体験事例発表のダイジェスト)をご要望によりお届けします。	無料 電話連絡で可	支部事務局
活動支援	(7) 講師の派遣	研修の講師、発表会の講評ならびに活動の指導・アドバイスをお引き受けします。	次ページに記載	支部事務局
	(8) 相談対応	QCサークル活動や問題解決に関するご質問・ご相談をお待ちしています。	随時受付	支部事務局 支部幹事
	(9) 教材の貸し出し	社内研修やサークル会合で活用できるビデオ等の教材の貸し出しを行っています。	無料	支部事務局

10-3. 賛助会社-加入方法

	内容	補足	時期	申込先
(1) 加入手続き	加入申込書に、必要事項(事業内容・社内活動等)を記入のうえ、提出ください。	加入申込書は事務局へご請求ください。	随時受付	支部事務局
(2) 加入更新	活動年度末に、更新手続きを行っていただきます。	更新手続きのご案内を、事務局よりさしあげます。	毎年1月～2月	
(3) 会費	年会費：14,000円 入会金：無料	通信費・資料手配・出前研修費用等の諸経費に充当させていただきます。	加入時 もしくは加入更新時	

11. 賛助会社への社内QC活動の支援

11-1. 活動支援の種類

QCサークル活動の導入・活性化に向けた体制・仕組み構築、知識・スキル習得などのため講師を派遣し、次のような支援をいたします。

- (1) 推進体制づくりへの助言
- (2) 活動の進め方への助言
- (3) 講義・演習の実施（貴社実情に応じたカリキュラムをご提案）
- (4) 社内発表会の講評・審査の実施方法の助言

11-2. 活動支援の条件

- (1) 対象：会員会社（賛助会社・幹事会社）
- (2) 回数・時間：最大4回/年（4時間以内/回）
※各社様のQCサークル活動の状況に応じ支援内容は異なります。
詳しくは支部事務局までお問合せください。
- (3) 費用：原則、いただきません（実施内容により実費が発生する場合は別途ご相談）
- (4) 講師：（一財）日本科学技術連盟認定のQCサークル上級指導士及び指導士
（幹事会社各社で活躍するQCサークル活動の管理者・推進者が伺います）
- (5) 申込み方法：「出前研修申込み・受付表」を提出
（帳票の請求は裏表紙のお問合せ先までお気軽にご連絡ください）

11-3. 出前研修活用事例

事例1	<p>▽活動全社導入初年度の会員様の例（サービス業）</p> <ul style="list-style-type: none">・目的：各事業所での活動推進にあたり、各事業所キーパーソンがQCサークル活動の基本を理解する。・実施内容：講義+演習（要因解析、対策立案等） ※支部講師3名派遣・研修参加者：26名（各事業所から部長～リーダー層が参加）・時間・回数：6時間×1回 （最大4時間/回の講師派遣の2回分をご活用） <p>※以降の活動は会員様独力で推進し、社内発表会を実施されました</p>
事例2	<p>▽活動開始2年目の会員様の例（医療関係） ※1年目で推進組織を立上げ済</p> <ul style="list-style-type: none">・目的：推進委員による各サークルへの指導・助言を通じた活動推進の定着・内容：1回目（6月）…基本講義（0.5h）+テーマ選定のアドバイス（各サークルの今年テーマ選定）2・3回目（8・10月）…個別サークルへのアドバイス（推進委員+支部幹事で助言）4回目（2月）…事業所内発表会の総合講評・助言 ※各回支部講師1～2名派遣・研修参加者：各回30～40名 （推進委員2名+5サークルのリーダー、メンバー）・支部講師：2名派遣・時間・回数：1.5時間×4回

※出前研修や講師派遣をご希望の方は、事務局までお気軽にご連絡ください。

12. 賛助会社一覧（2021年12月10日現在）

No.	地区	会社名	No.	地区	会社名	
1	札幌	(株)魚国総本社 北海道支社	42	苫小牧・千歳	18 豊通スメルティングテクノロジー(株) 北海道工場	
2		エア・ウォーター物流(株)	43		19 中山三星建材(株) 苫小牧工場	
3		NTTファイナンス(株)ビルディング事業本部 北海道料金センター	44		20 日軽松尾(株) 苫小牧工場	
4		オー・ジー(株) 札幌支店	45		21 パナソニック(株)デバイスソリューション事業部 北海道工場	
5		(社福)恩賜財団済生会支部 北海道済生会小樽病院	46		22 日立物流ダイレックス(株)	
6		(有)喜久一	47		23 不二電子工業(株) 千歳工場	
7		京浜精密工業(株) 北海道工場	48		24 北海道エア・ウォーター(株) 千歳営業所	
8		生活協同組合コープさっぽろ	49		25 (株)北海道シーアイシー研究所	
9		(医社)五風会 さっぽろ香雪病院	50		26 松江エンジニアリング(株) 苫小牧工場	
10		札幌交通機械(株)	51		27 ミツミ電機(株) 千歳事業所	
11		札幌電鉄工業(株)	52		28 玉造株式会社 恵庭工場	
12		(株)産鋼スチール	53		室蘭	1 アイシン精機(株) 登別事業所
13		シダックスコントラクトフードサービス(株)	54			2 (株)栗林商会
14		島津電設(株)	55			3 (社福)黒松内つくし園
15		(株)土谷製作所	56			4 (株)坂田組
16		(社医)札幌禎心会病院	57			5 陣上工業(株)
17		日本貨物鉄道(株) 北海道支社	58			6 新和産業(株)
18		(株)光合金製作所	59			7 (株)スガテック 室蘭支店
19		ビー・ユー・ジーDMG森精機(株)	60			8 (社医)製鉄記念室蘭病院
20		ピーエス工業(株) 札幌工場	61			9 第一金属(株)
21		ホクレン農業協同組合連合会	62			10 大同電設(株) 室蘭支店
22		北海鋼機(株)	63			11 特殊電極(株) 北海道営業所
23		北海パネ(株)	64			12 日鉄セメント(株)
24		有楽製菓(株) 札幌工場	65			13 日鉄ビジネスサービス室蘭(株)
25	苫小牧・千歳	1 阿部商事(株)	66	14 日本スピング(株) 室蘭事業所		
26		2 石上車輛(株)	67	15 日本製鋼所株式会社		
27		3 いすゞエンジン製造北海道(株)	68	16 濱野鋼業(株)		
28		4 (株)いすゞ北海道試験場	69	17 富士印刷(株)		
29		5 (株)イワクラ	70	18 (社医)母恋日鋼記念病院		
30		6 (医)王子総合病院	71	19 三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)		
31		7 岡谷鋼機北海道(株)	72	20 (株)ムロランスズキ		
32		8 (株)京都セミコンダクター 恵庭事業所	73	21 (株)むろらん東郷		
33		9 航空自衛隊 千歳基地防空教導隊	74	22 (株)モノリス		
34		10 航空自衛隊 第3高射群	75	23 吉川工業(株) 室蘭支店		
35		11 航空自衛隊 北部航空警戒管制団	76	道北		1 佐藤鋳工(株)
36		12 光生アルミ北海道(株)	77		2 トヨタ自動車(株) 士別試験場	
37		13 合同容器(株) 札幌事業部	78		3 トルク精密工業(株)	
38		14 (株)シーヴェイテック北海道	79	道東	1 王子マテリア(株) 釧路工場	
39		15 清水鋼鐵(株) 苫小牧製鋼所	80		2 札鶴ベニヤ(株) 恋問工場	
40		16 新酸素化学(株)	81		3 日農機製工(株)	
41		17 新明工業(株) 北海道工場	82		4 パナソニックスイッチングテクノロジーズ(株)	

13. 支部役員 (2022年度 予定)

支部長	今井 光明	トヨタ自動車北海道(株) 常務取締役
副支部長	川合 智士	(株)ダイナックス 上級執行役員 管理本部長
顧問	田中 義克	北海道立総合研究機構 理事長 〈元トヨタ自動車北海道(株)〉
顧問	杉本 正和	北海道ものづくり産業アドバイザー 〈元(株)デンソー北海道〉
顧問	根橋 聖治	(株)デンソー北海道 代表取締役社長
顧問	伊藤 和弘	(株)ダイナックス 代表取締役
顧問	百成 睦	日鉄ファーストテック(株) 取締役
世話人	犬塚 昌彦	(株)三五北海道 技官
副世話人	中山 健一郎	札幌大学 地域共創学群 教授
副世話人	中西 玄一	道央産業振興財団 技術コーディネーター
副世話人	中野 純一	道央産業振興財団 技術コーディネーター
副世話人	加家壁 弘志	(株)デンソー北海道 製造部検査課 キャリアパートナー
副世話人	斉藤 美紗貴	日鉄ファーストテック(株) 総務部QC・JIS推進 グループマネジャー
幹事長	大谷 直道	トヨタ自動車北海道(株) 技術部兼総務部 主査
副幹事長兼監査人	藤根 由美子	(株)ダイナックス 管理本部 人事総務部 未来塾 主査

14. 支部幹事会社 (2022年度 予定)

1.	学校法人札幌大学	(札幌)	10.	トヨタ自動車北海道(株)	(苫小牧)
2.	(株)TMJ	(札幌)	11.	幌清(株)	(室蘭)
3.	北海道住電精密(株)	(奈井江)	12.	産業振興(株)室蘭事業所	(室蘭)
4.	航空自衛隊第2航空団	(千歳)	13.	(株)テツゲン 室蘭支店	(室蘭)
5.	(株)ダイナックス	(千歳)	14.	日鉄テクノロジー(株)室蘭事業所	(室蘭)
6.	(株)デンソー北海道	(千歳)	15.	日鉄テックスエンジ(株)室蘭支店	(室蘭)
7.	アイシン北海道(株)	(苫小牧)	16.	日鉄ファーストテック(株)	(室蘭)
8.	出光興産(株)北海道製油所	(苫小牧)	17.	日本製鉄(株)室蘭製鉄所	(室蘭)
9.	(株)三五北海道	(苫小牧)	18.	大和工業(株)室蘭事業所	(室蘭)

15. 地区代表幹事会社 (2022年度 予定)

札幌地区	(株)TMJ・北海道住電住電(株)・ダイナックス(株)
苫小牧・千歳地区	アイシン北海道(株)・(株)三五北海道・出光興産(株)北海道製油所
室蘭地区	大和工業(株)

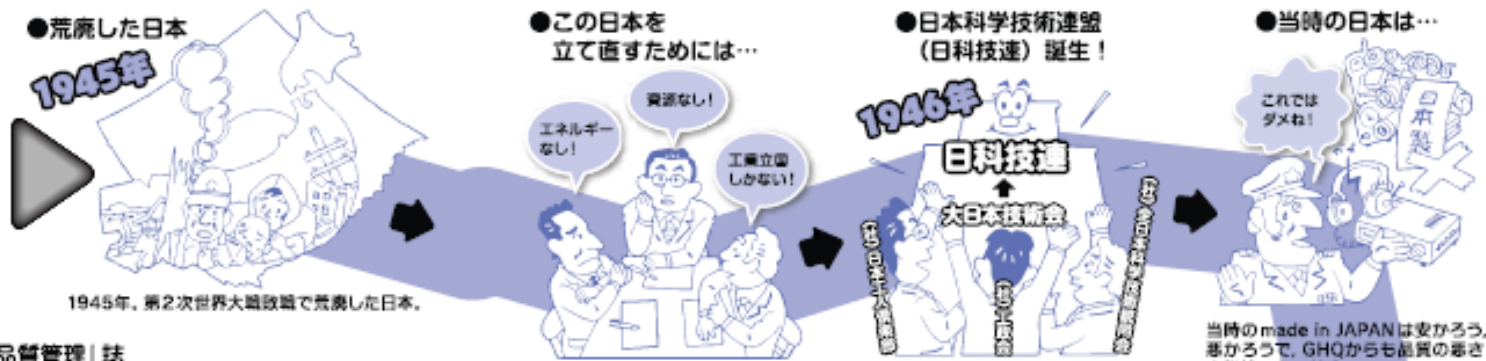
16. 行事計画 (2022年度 予定)

年/月	支部行事	地区行事	
2022年	3月		
	4月	各地区情報交換会 医療、福祉情報交換会	
	5月		
	6月		
	7月	千歳大会(改善事例・運営事例) QCサークルリーダー研修会	
	8月	QCサークルリーダー研修会サークルメンバー研修会	
	9月		
	10月	室蘭大会(改善事例)	札幌地区手法研修会 苫小牧・千歳地区研修会
	11月		室蘭地区手法研修会 医療、福祉情報交換会
	12月		各地区ミニ発表会
2023年	1月	札幌大会	
	2月		

支部・地区の行事はQCサークル北海道支部 ホームページにも掲載しています。

<http://www.juse.jp/qcc/hokkaido/>

QCサークル 誕生物語



1945年、第2次世界大戦敗戦で荒廃した日本。

産業界、学会の有志たちが集まり、日本を立て直すためには、「科学技術の振興」「工業立国」への道しかないとの決意。

1946年、科学技術の振興、工業立国を目指した人々によって日本科学技術連盟が設立されました。

当時のmade in JAPANは変かろう、悪かろうで、GHQからも品質の善さを指摘される始末。

●「品質管理」誌の座談会で…



1961年7月、「品質管理」誌企画の職・組長の座談会があり、そこで、自分たち向けのQCの雑誌を作ってほしいとの要望がありました。

●QCの専門誌「品質管理」誌の創刊



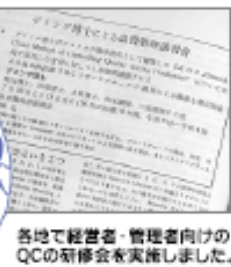
1950年、部課長・スタッフ向けにQCの専門誌「品質管理」誌が創刊されました。

●QCが経営ツールとして浸透



その結果、日本全土にQCが経営ツールとして浸透していきます。

●QCの研修会を実施



各地で経営者・管理者向けのQCの研修会を実施しました。

●デミング博士



そこで、日科技連は品質向上、人材育成のためにアメリカから品質管理（QC）の専門家であるデミング博士、ジュラン博士を招きました。

●ジュラン博士



●「QCサークル」誌の前身「現場とQC」誌が創刊



この要請を受けて、1962年4月に現場第一線の方々向けに「現場とQC」誌が創刊されました。

●QCサークルの誕生

こうして結成された小集団を「QCサークル」と名づけました。QCサークルの誕生です。



●創刊号の中で…

この人がQCサークルの生みの親とも言われる
石川 馨 先生



「現場とQC」誌の創刊号の中で、本誌を教材としてQCを勉強する小集団を結成してほしいと呼びかけました。

QCサークルを結成して勉強しよう！

●QCサークル本部設立、本部登録制度がスタート



1962年5月 QCサークル本部設立、本部登録制度がスタートしました。

●QCサークル全国組織へ

現在、全国で9支部36地区が活動を行い、本部登録サークルは4万件を超えています。



●おわりに

このようにして、QCサークルは日本で誕生しました。1961年7月に行なわれた「品質管理」誌の企画、現場の職・組長さんの座談会において「第一線で働くわれわれにも気軽に読める、QCの勉強ができるような雑誌をつくってほしい」、「われわれも品質意識、問題意識、改善意識をもっているのに、意見や考えを出さずには居られない」との要望から、現在の「QCサークル」誌が生まれ、QCサークルが生まれたのです。このように向上心に燃えた先駆者がいなければ、もしかしたらQCサークルは誕生しなかったかもしれません。



会員企業募集中



QC活動で人材育成!

QCサークル北海道支部 広報誌「北のいぶき」
発行/QCサークル北海道支部（2022年1月）
企画・編集/QCサークル北海道支部 広報委員会

《お問合せ先》

2022年度事務局 <2022年3月～2023年2月>

トヨタ自動車北海道株式会社 大谷 直道

TEL 0144-52-3505/0144-52-3281 FAX 0144-52-3184

MAIL n_ohtani@tmh.co.jp

QCサークル北海道支部 ホームページ

<http://www.juse.jp/qcc/hokkaido/>